

Canon EF^S LENS

EF-S18-135mm f/3.5-5.6 IS STM



IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF-S18-135mm F3.5-5.6 IS STMはEF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラ*用に開発された、手ブレ補正機能を備えた高性能・高倍率ズームレンズです。

* EF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラは、以下のとおりです。(2012年8月現在)
他のEOSカメラには装着できません。
EOS 7D、EOS 60D、EOS 50D、EOS 40D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 20Da、EOS Kiss X6i、EOS Kiss X5、EOS Kiss X4、EOS Kiss X3、EOS Kiss X2、EOS Kiss X50、EOS Kiss F、EOS Kiss デジタルX、EOS Kiss デジタルN、EOS Kiss デジタル

- ISはImage Stabilizer (手ブレ補正機能) の略称です。
- STMはStepping Motor (ステッピングモーター) の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、約4段分*1の手ブレ補正機能を備えています。
また撮影状況(静止した被写体の撮影、流し撮りなど)に応じて最適な手ブレ補正を行います。

2. 非球面レンズとUDレンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. フォーカスリングの回転を電氣的に検知して手動フォーカスを行う、電子マニュアルフォーカスを採用しています。
4. オートフォーカスモード(ONE SHOT AF時)のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
5. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。
6. 動画撮影時の機能を高めています。
 - 動画撮影中に、歩きながらの撮影などに有効な、手ブレの補正範囲を広げたダイナミックIS機能を備えています。
 - ステッピングモーター搭載により、静かでスムーズな動画サーボAFを実現しています。*2

*1 : $[1 / (\text{焦点距離} \times 1.6)]$ 秒を基準にしています。一般に手ブレを防ぐためには「 $1 / \text{焦点距離}$ 」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。(35mmフォーマットの場合、EF-Sレンズの場合は「 $[1 / (\text{焦点距離} \times 1.6)]$ 秒」となります。)

*2 : 以下のカメラに適應しています。(2012年8月現在)
EOS Kiss X6i

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けずに放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

撮影上のご注意

このレンズは、フォーカスレンズ（ピント合わせを行う役割のレンズ）の駆動にステッピングモーターを用いています。

このモーターはズーミング中もフォーカスレンズを動かしています。

1. 電源が入っていない状態でのご注意

電源を切った状態やオートパワーオフで電源が切れた状態では、モーターが作動しないため、次のことにご注意ください。

- マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
- ズーミングを行うと、ピントズレを生じます。

2. レンズの休止状態でのご注意

このレンズは、レンズを操作しない状態が続くと節電のため、カメラのオートパワーオフとは別に休止状態になります。

カメラの電源が入っていても、レンズが休止状態の時にはモーターが作動しないため、次のことにご注意ください。

- マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
- ズーミングを行うと、ピントズレを生じます。
- レンズの休止状態からの復帰には、シャッターボタンを半押ししてください。

3. 初期リセット中のご注意

カメラの電源を入れたとき、およびオートパワーオフで電源が切れたところからシャッターボタン半押しで電源を入れたとき*1、フォーカスレンズの初期リセット動作が行われます。

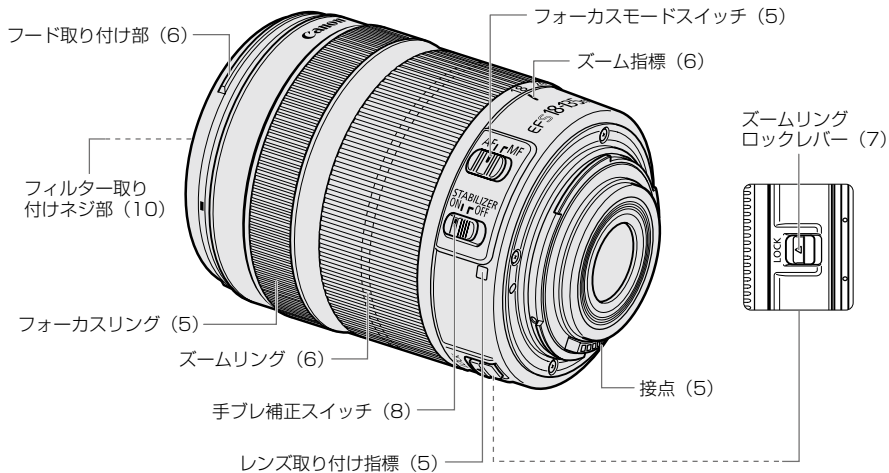
- 初期リセット中は、ファインダーでボケが変化する像が見えませんが正常動作です。
- 初期リセットが完了する約1秒間*2、撮影操作をお待ちください。

*1：EF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラのうち、以下のカメラにおいて。

EOS 7D、EOS 60D、EOS 50D、EOS 40D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 20Da、EOS Kiss X5、EOS Kiss X4、EOS Kiss X3、EOS Kiss X2、EOS Kiss X50、EOS Kiss F、EOS Kiss デジタルX、EOS Kiss デジタルN、EOS Kiss デジタル

*2：ご使用のカメラにより異なります。

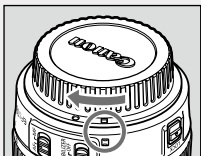
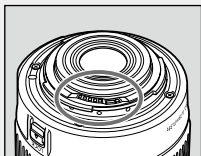
各部の名称



● (**) の ** 部は参照ページを示しています。

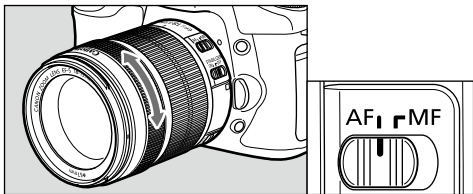
1 レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの□の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2 フォーカスモードの設定



オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを手で回してピントを合わせます。

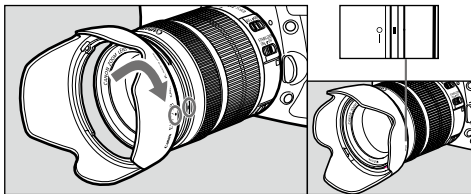


カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッターボタン半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。



- フォーカスリングを急回転させた場合、ピント調整が遅れることがあります。
- 電源が切れた状態では、MFでのピント調整はできません。

3 フード (別売)

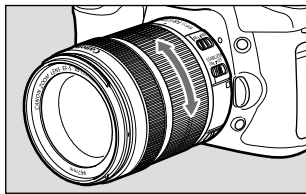


レンズフードEW-73Bは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

4 ズーミング

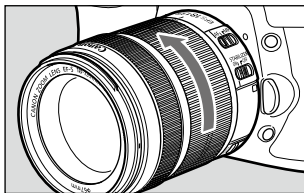
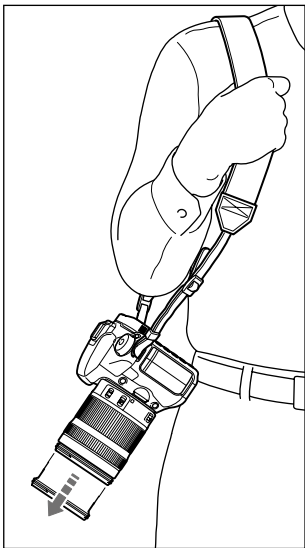


ズームリングを手で回してズーミングします。

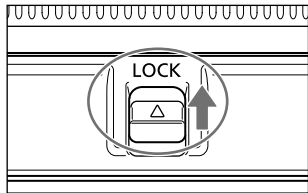
- ピント合わせはズーミングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズーミングすると、ピント誤差が生じることがあります。
- ズームリングを急回転させた場合、一時的にピントがボケることがあります。
- 電源が切れた状態でズーミングを行うと、ピントズレが生じます。
- 静止画の露光中にズーミングを行うと、ピントズレが生じ輝点などの軌跡がボケます。

5 ズームリングの固定

ズームリングを固定して、レンズを最短状態に保持できます。ストラップ付きカメラに装着した状態で運搬するとき、ズーム繰り出し部が伸びてしまうことを防ぎます。




- 1 ズームリングをワイド端（18mm）まで回します。



- 2 ズームリングロックレバーを矢印の方向にスライドします。

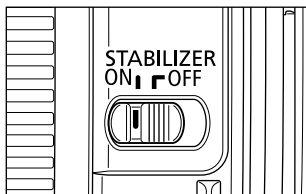
- ズームリングの固定を解除するときは、ズームリングロックレバーを矢印の反対方向にスライドします。

 ワイド端以外でのズームリングの固定はできません。

6 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。

また撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じて最適な手ブレ補正を行います。



1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはOFFにします。

2 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するときは、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。

- 静止した被写体の撮影では、すべての方向の手ブレを補正します。
- 水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。
- 三脚を使用した場合も支障なく撮影できますが、バッテリーの消費を防ぐため手ブレ補正スイッチをOFFにすることをおすすめします。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果がありますが、撮影環境によっては、手ブレ補正効果が低下する場合があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II、EF25 IIを使用しても作動します。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

手ブレ補正機能

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。



ON

OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況



ON

OFF

- 移動する被写体を流し撮りする場合

■ ダイナミックIS機能

歩きながらの撮影などに有効な、手ブレの補正範囲を広げたダイナミックIS機能を備えています。

- ワイド側で効果を発揮します。
- カメラを動画撮影に設定すると、自動的に機能が働きます。

7 フィルター（別売）


フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキャノン円偏光フィルター PL-C B（67mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

8 エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲(mm)		撮影倍率(倍)	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	18mm	使用できません			
	135mm	300	1568	0.43	0.09
EF25 II	18mm	使用できません			
	135mm	258	822	0.61	0.21

 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

9 主な仕様

焦点距離・明るさ	18-135mm F3.5-5.6
レンズ構成	12群16枚
最小絞り	F22-36*
画角	対角 74° 20' ~ 11° 30'、垂直 45° 30' ~ 6° 20'、 水平 64° 30' ~ 9° 30'
最短撮影距離	0.39m
最大撮影倍率	0.28倍 (135mm時)
画界	約248×372 ~ 53×80mm (0.39m時)
フィルター径	67mm
最大径×長さ	76.6×96.0mm
質量	約480g
フード	EW-73B (別売)
レンズキャップ	E-67/E-67 II
ケース	LP1116 (別売)

* 数値は絞り表示が1/3段ごとの場合です。1/2段ごとの場合はF22-38になります。

- 35mmフォーマット換算での焦点距離イメージは29-216mmとなります。
- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.5mm (レンズキャップがE-67の場合) / +24.2mm (レンズキャップがE-67 II の場合) になります。
- 大きさ・質量表示は本体のみの値です。
- エクステンダーは使用できません。またクローズアップレンズは使用可能なサイズがありません。
- 絞り値は、カメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打ち切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEFレンズホームページ
canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター
050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9:00~20:00〈土/日/祝〉10:00~17:00〈1/1~3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon